

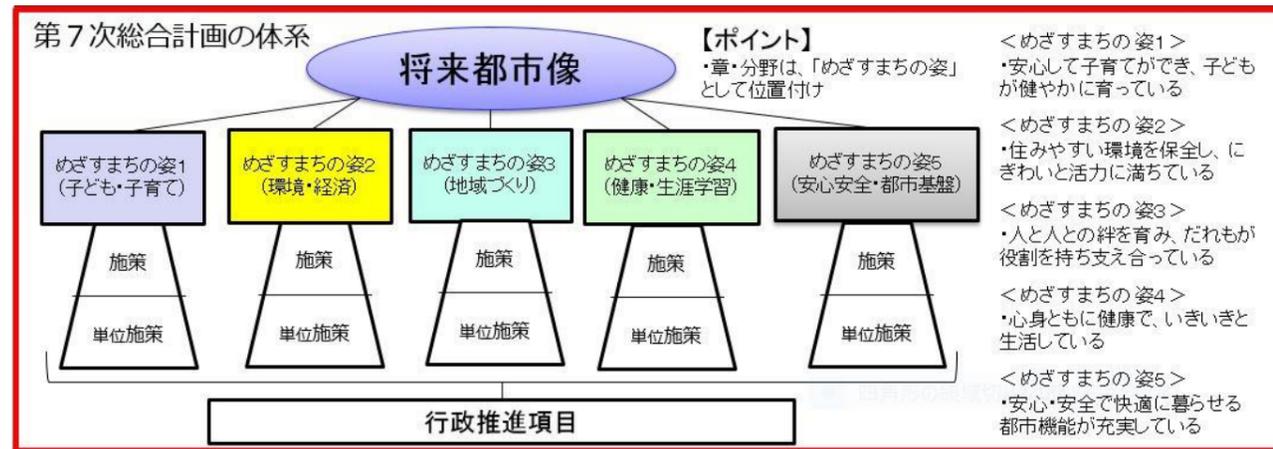
東海市で取り組むアクションのアイデアを出し合いました！

～ 第4回 とうかい未来づくり会議 開催レポート ～

2022年9月17日（土）13時半～16時半、東海市役所地下大会議室で「第4回 とうかい未来づくり会議」を開催しました。この会議は、今後10年間のまちづくりの方針を定める総合計画づくりの一環で開催するものです。これからのまちづくりにおいて求められる取組について考えることを目的として、市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の東海市の暮らし」について自由に話し合い、令和3年12月～令和4年11月まで計5回開催しているものです。以下、第4回の会議の様子をご紹介します。

■ 第7次総合計画策定の策定経過と会議の進め方について説明

令和3年度から開始している第7次総合計画の策定の経過について市が説明しました。市では、令和3年度に設定した5つの分野（めざすまちの姿）ごとに10～20名の市職員で組織された「分野別部会」を設置しました。「分野別部会」では、「第1回～第3回の皆さんからの発言などを参考に、それぞれのめざすまちの姿の実現に向けた手段となる具体的な施策等の検討を行っている」という内容の報告がありました。



第4回と第5回では、市民（個人や地域、団体や企業）の役割と行政の役割について、議論するとともに、施策を推進していくための取組アイデアを5つの班に分かれて提案していただくようお願いしました。

■ グループワーク①「子ども子育て」分野の取り組むアクションを考えよう！

「子ども子育て」分野では、「お兄ちゃん・お姉ちゃんクラブ」という、放課後の中高大生が児童の勉強や遊びを見守るアイデアや、子どもが市内の企業や農家でお仕事体験をする「ミニキッサニア」といったアイデアが出ました。

この分野では、「子育ての切れ目のない支援の情報が分かりやすく提供される」や、「中高大生が居場所づくりに参加する」、「企業の育休制度の構築と意識改革」、さらには「ヤングケアラーなど課題を抱えた子どもへのサポート」を市民と行政が連携して取り組む必要があるという声がありました。



■ グループワーク②「環境・経済」分野の取り組むアクションを考えよう！

「環境」分野では、「生物や生態系を学びながら清掃」という、清掃活動の時に、生物に詳しい人から学びながら清掃するというアイデアや、市民の家でも協力してもらい環境モニタリングや活動を実施するというようなアイデアが出ました。

「経済」分野については、「美味しい番組、東海市産！」という、地元農作物や特産品を活かした料理法などをYouTubeで配信するといったアイデアが出ました。

この分野では、「環境活動を教育と組み合わせる」や、「多様な主体が一緒になって降下ばいじんの問題に取り組んでいくムードをつくる」、「地域活性化のため、公園や広場を有効活用する方法を考える」、さらには「地元の産業を活性化する」といったことを市民と行政が連携して取り組むことが求められました。



■ グループワーク③「地域づくり」分野の取り組むアクションを考えよう！



「地域づくり」分野では、「スポーツ体験会」という、障害者がスポーツをする機会づくりをするアイデアや、空き地を利用して野菜づくりなどをする「みんなでものづくり」といったアイデアが出ました。

この分野では、「高齢者の見守りなどを地域で行う仕組みづくり」や、「高齢者や障害者、外国人がそれぞれの強みを活かして社会との接点を持つ」、「活動をはじめめるための場や機会をつくる」、さらには「地域づくりを知ってもらうための情報発信」といった市民と行政が連携して取り組む内容が話し合われました。



■ 千頭先生によるふりかえり

グループワークの後、日本福祉大学国際福祉開発学部特任教授の千頭先生より、ふりかえりのコメントをいただきました。生物学的には、「多様性と固有性が大切」と言われている。地域づくりに置き換えても、「一人ひとり違うという多様さを全体で支える」という視点を持ち、自分の関心ごとの活動をしていくことが大切だという東海市の未来づくりに重要なポイントをお話していただきました。

■ 最後に、継続的な協力をお願い

閉会にあたり、改めて事務局より、今回のとうかい未来づくり会議は、総合計画づくりの本格的な議論の場であることをお伝えし、最終回も引き続きご参加・ご協力いただくことをお願いしました。

